

地域ふれあいサロンで 行楽シーズンを楽しみましょう！



4月 花見山 桧原はつつクラブ

憧れの花見山。毎年テレビで取り上げられているのを見て、「いつか行きたい」をようやく叶えられました。当日は若干の小雨模様もありましたが、散策時は傘をさすこともなく、色鮮やかな花々を眺めながら春を感じることができました。

待ちに待った行楽シーズンは、バス旅行が大きな楽しみになっています。「季節の花が見たい」「テレビでよく見る〇〇に行ってみたい」「皆で出掛ければどこでも楽しい」早起きして、おしゃべりして、バスの中では笑い声が絶えず、帰りには両手にお土産をどっさり抱えて、パワーみなぎる皆さん。次はどこに行こうかなと、楽しみは尽きません。

◎外出の良い効果◎

- ①認知症予防・うつ予防：外出で五感が刺激され、脳の活性化や気分転換にもなります。
- ②体力向上：あらゆる場面に対応することで、体をしっかり動かし、運動不足の解消にもなります。
- ③孤独感の緩和：挨拶や会話、人と一緒に食べる食事や一緒にいる安心感が心を穏やかにします。

5月 ばたん百種展示園（五泉市）
滝谷和楽塾



GWの気候の良さで、あっという間に花盛りを迎えてしまい、旅行当日は散り始め。頭の中に、大輪のボタンを描き、想像力で楽しみました。次のチャンスに期待しましょう。

6月 北方文化博物館（新潟市）
西方サロンなごみ・ほがらかサロン



素晴らしい旧家の造りに、西方から切り出された立派な一本杉が使われており、誇らしい気持ちで見学しました。雨が落ちる優美な庭園を眺めて心落ち着くひと時でした。

ご寄附御礼 佐久間建設工業株式会社

5月26日、佐久間建設工業株式会社様より日本赤十字社へ多額の寄附金をいただきました。佐久間源一郎代表取締役会長（写真：右）、佐藤岩男代表取締役社長（写真：左）が来庁され矢澤源成日本赤十字社三島町分区長へご寄附が手渡されました。



心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

福祉センター花だより

三島町高齢者福祉センター福寿草前の花壇に花を植えました。町からいただいた花、住民の方からの好意でいただいた花苗など、色とりどりの花がお出迎えしています。ぜひ足を延ばしてお散歩にいらしてください。



令和8年度 日本赤十字社 社費総額 290,100円

日本赤十字社の活動は、赤十字の理念に賛同してくださる皆さんからお寄せいただく寄附や活動資金（赤十字社員の会費）によって支えられています。今年度も、各地区を通じて下記の通り社費のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。これらは、災害の被災者救護や防災・減災の普及啓発ボランティアの育成などに役立てられています。



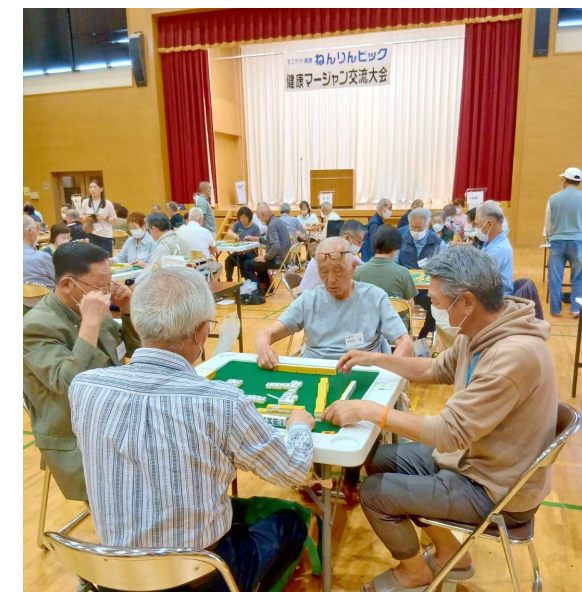
ハートちゃん

日本赤十字社キャラクター

宮下	61,100円
荒屋敷	5,500円
桑原	8,000円
中平	8,000円
大川登	11,500円
桧井	15,500円
滝原	19,500円
大谷	20,500円
浅谷	15,000円
間岐	8,500円
西方	13,000円
大石	44,000円
名田	26,000円
小入	12,500円
高水	1,500円
清原	7,000円
滝戸	4,500円
早	8,500円

仲間と楽しくマージャンしましょう

健康づくりの一環として始めた健康マージャンサロンも4年目に突入し、月2回の練習を楽しみにしています。5月に開催されたすこやか福島ねんりんピックには3名の選手が参戦し、4回戦もの長丁場を戦い抜きました。



健康マージャンに関心がある方、参加希望の方、お気軽に社会福祉協議会までお問い合わせください。

三島町きずなスポーツフェスティバル（5月23日）



今年で3年目を迎える三島町きずなスポーツフェスティバルが中学校校庭において青空のもと開催されました。

全児童生徒による元気いっぱいの入場行進から始まり、来賓前では照れながらもキラキラした笑顔で溢れた子どもたち。小中学生による国旗・町旗の掲揚が厳かに執り行われました。演技・競技では、保育所児童によるとても可愛いかけっこや、ユーモアたっぷりの応援合戦にほほえましく思いました。競技中に転倒した生徒を、後ろから来た生徒が起こし、一緒にゴールする姿に感動し大きな拍手が送られました。最終競技の5・6年生と中学生によるリレーでは、大人顔負けの迫力あるリレーに、子どもたちの成長ぶりを見ることが出来ました。

子どもたちが、練習を重ね最後まであきらめない姿に、たくさんの感動をいただき楽しいひと時を過ごすことができました。これからも、町民一体となって、子どもたちが元気に活躍する姿を応援したいと思います。

報告者：長谷川洋子（川井・大登地区担当）

小学校・中学校・保育所訪問（5月28日）

民生児童委員の活動として、保育所・小学校・中学校を訪問しました。保育所から中学校まで連携した教育目標として、ふるさとに誇りを持ち「なりたい自分」を描く子どもの育成に協働して歩んでくことをあげられていました。教室を訪れると児童数の減少を実感しましたが、人数が少ないことで一人ひとりの意見や個性が大切にされているように感じられ、このような思いやりのある環境の中で子どもたちの「なりたい自分」が育成されてくると思います。また、伝統行事などに参加する事で、世代を超えた交流が生まれ、地域の理解を深めるきっかけになると思います。私たちも子どもたちの素晴らしい未来のために見守り続けていきたいと思いました。



中学校の校長先生から、教育目標や理念などのお話を伺いました。

報告者：目黒千春
（滝谷地区担当）

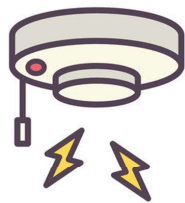


春の火災予防週間・防火診断（4月7日）



当日は、会津坂下消防署三島出張所、会津坂下警察署三島駐在所、三島消防団の方々と一緒に高齢者宅を訪問し、家屋内点検や助言などをお聞きました。

特に火災報知器については、寝室への設置が義務付けられています。過去に町で全戸配布してから10年以上経過しており、本体の使用期限が切れている世帯も多いため、確認して取り替えましょう。



【編集後記】「スーパーエルニーニョ」って何？！

皆様お元気ですか？
先日から天気予報で「スーパーエルニーニョ」の説明があり、今年は数年前のエルニーニョより大型のものが来るそうです。酷暑日（40℃以上）や大雨（土砂降り）等の災害級の事態に油断大敵です。クーラーや扇風機を使用して、熱中症や脱水に注意して、この夏を乗り切りましょう！

湯田 恭子（宮下地区担当）

発行：三島町民生児童委員協議会
〈広報委員〉飯塚敦子
湯田恭子
本名与四郎
事務局／三島町社会福祉協議会



社会福祉法人三島町社会福祉協議会 令和7年度事業報告

令和7年度の事業報告と決算報告について、5月・6月に開催した理事会及び評議員会で承認されました。その概要を以下の通り報告いたします。

1. 理事会・評議員会の開催状況

- ・理事会（5月・6月・3月）
- ・評議員会（6月・3月）

2. 会員会費納入（7月）

合計 747,000円
【内訳】一般会員：569件（572口）
572,000円
特別会員：3件（3口）
15,000円
賛助会員：15件（16口）
160,000円

3. 役員、職員の研修会などへの参加

- ・日赤地区区分・担当課長担当者会議
- ・生活支援コーディネーター連絡会
- ・あんしんサポート利用料改定にかかる事務手続き説明会
- ・「PayPay」オフライン寄附開始に伴う説明会
- ・第79回社会福祉大会
- ・安全運転管理者講習

4. 福祉座談会の開催

民生児童委員協議会事業へ参加
浅岐地区高齢者との交流会
11月18日15名

5. ボランティア活動の振興と

福祉教育・啓発活動

（1）地域支え合い推進事業

- ・地域支え合い連絡会 3月18日
- ・地域支え合い通信発行（ゆい♡はーと掲載）
- ・みしま雪かき支援隊 運営協力

（2）広報誌の発行

- ①広報誌「ゆい♡はーと」発行
年3回（7月・12月・3月）
- ②6町村社協合同かわら版
「こねっと！」発行 年12回（毎月）

（3）ボランティアセンター事業

- ①ボランティア保険加入 143名
- ②ボランティア団体活動支援 7団体

6. 福祉サービス等の企画・実施状況

- （1）福祉機器貸出事業 新規貸出5件
- （2）除雪援護費助成事業 3件
- （3）移送サービス車両貸出事業 26回
- （4）福祉バス運行 46回
- （5）一人暮らし高齢者等会食サービス助成事業
4団体5回 延べ参加者数 161名
- （6）地域ふれあいサロン事業
助成サロン 12地区13箇所
活動支援サロン 11箇所
- （7）社会福祉協議会会長杯グラウンドゴルフ大会
9月17日 21名参加
- （8）健康マージャンサロン 22回（内2回大会）
延べ361名参加

7. 総合的な相談・援助活動

- （1）三島町民生児童委員協議会事務局
- （2）三島町老人クラブ連合会事務局
- （3）心配ごと相談所の運営 5回 相談0件
弁護士相談会 1回 相談4件
- （4）資金貸付事業（生活福祉資金・たすけあい銀行）
- （5）福祉団体への支援 2団体
三島町保護司会・三島町戦没者遺族会

8. 日本赤十字社三島町分区事業

- （1）社費納入状況
一般 572件 298,000円
法人 1件 1,000,000円
- （2）三島町赤十字奉仕団事務局

9. 三島町共同募金会

- （1）赤い羽根共同募金運動
565件 360,415円
- （2）歳末たすけあい運動
①募金活動 552件 521,824円
②配分事業
地域ふれあい配分事業
10件 183,622円
施設行事助成金 2か所 50,000円
地域福祉サービス事業費 288,202円

10. 寄附金・寄附物品受入

- （1）ご遺志による寄附金 27件 670,000円
- （2）一般寄附金 3件 58,381円



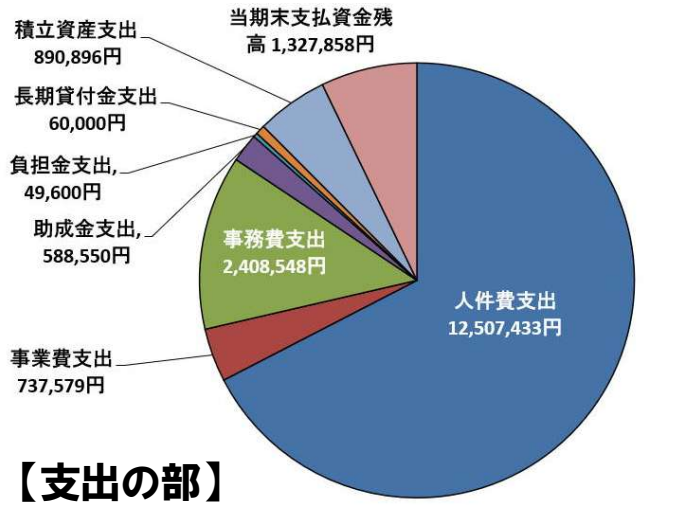
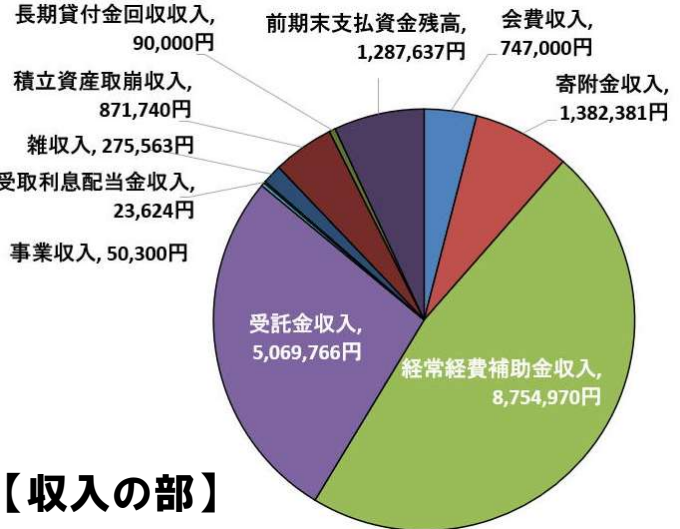
【収入の部 18,552,981円】		
科 目	決算額	%
会費収入	747,000	4%
寄附金収入	1,382,381	7%
経常経費補助金収入	8,754,970	47%
受託金収入	5,069,766	27%
事業収入	50,300	0%
受取利息配当金収入	23,624	0%
その他の収入	275,563	2%
積立資産取崩収入	871,740	5%
長期貸付金回収収入	90,000	1%
前期末支払資金残高	1,287,637	7%
収入計	18,552,981	100%

【支出の部 18,552,981円】		
科 目	決算額	%
人件費支出	12,507,433	68%
事業費支出	737,579	4%
事務費支出	2,408,548	13%
助成金支出	395,750	2%
負担金支出	58,600	0%
長期貸付金支出	130,000	1%
積立資産支出	987,213	5%
当期末支払資金残高	1,327,858	7%
支出計	18,552,981	100%

財産目録	
令和8年3月31日現在	
資産・負債内容	金額
資産の部	
1. 流動資産	1,991,345
預貯金	1,991,345
2. 固定資産	13,710,937
(1)基本財産	1,000,000
(2)その他の固定資産	12,710,937
資産合計	15,702,282
負債の部	
1. 流動負債	663,487
未払金	585,417
職員預り金	78,070
2. 固定負債	1,110,642
負債合計	1,774,129
差引純資産	13,928,153

ゆい♡はーと③

社会福祉法人三島町社会福祉協議会
令和7年度決算報告



貸借対照表			
令和8年3月31日現在			
資産の部(借方)		資産の部(貸方)	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,991,345	流動負債	663,487
固定資産	13,710,937	固定負債	1,110,642
		負債の部合計	1,774,129
		基本金	1,000,000
		その他の積立金	11,456,279
		次期繰越活動増減差額	1,471,874
		純資産の部合計	13,928,153
資産の部合計	15,702,282	負債及び純資産の部合計	15,702,282

令和7年度計画した事業は全て完了することができました。
皆様のご協力とご支援に感謝申し上げます。

みんなきょう便り 第46号
「みんなきょう」とは、民生児童委員協議会の略です

令和7年度 三島町民生児童委員協議会 事業報告

- ①定例会 原則毎月第1木曜日開催
活動報告・協議事項
地区内の課題及びケース検討
今後の予定など

②役員会（4月・12月・2月）
監査会（4月）

③広報委員会（6月・11月・2月）

④研修、意見交換など
自主研修 3回
小グループ意見交換会 3回
研修会 7回
視察研修 1回

⑤調査活動
・福祉票、緊急連絡カードの整備
・災害時要支援者カードの作成
・福祉マップの整備
・防火診断対象世帯
・除雪援護費助成対象世帯調査
・歳末たすけあい援護世帯対象者調査
・冬期間留守世帯調査
・除雪時要注意世帯調査
- ⑥相談活動 心配ごと相談所の運営協力

⑦見守り・一斉訪問活動（5月・10月・2月）

⑧みんなきょう便りの発行（7月・12月・3月）

⑨その他の活動
・地域ふれあいサロン開催支援、協力
・児童福祉週間小中学校、保育所訪問
・社会を明るくする運動への協力
・浅岐地区高齢者との交流会
・歳末たすけあい募金活動の協力
・福島県民生児童委員協議会理事会
・会津地方民生児童委員会長連絡会総会
・会津地方民生児童委員会長連絡会役員会
・社会福祉協議会への事業協力
・町、学校、保育所事業への協力
・町老人クラブ連合会への協力
・町戦没者遺族会事業への協力
・保護司会への協力



活動報告

民生児童委員視察研修（4月21日） 福島県立美術館「大ゴッホ展」
福島県男女共生センター「福祉機器展示」

広い庭を抜けて入場すると多くの人が列を作っており、大ゴッホ展の盛況ぶりがうかがえました。作品は、ゴッホの年齢とともに展示されており、ゴッホの人生と重ねて見ることができました。中でも「夜のカフェテラス」は夜空に明るさがあり、夜明けがしみじみのように感じました。

午後は、二本松市男女共生センターの福祉機器見学に行きました。ここは「見て」「触れて」「学ぶ」場として紹介されています。デイサービスの利用者の作品が展示されおりとても和やかな雰囲気、中に進むと600点以上の福祉用具が展示されていました。手に取って見たり、着用したり、試乗したりして体験できます。年を重ねると、手足が思うように使えなくなりますが、福祉用具を使いながら、自分に合った暮らしを続けたいと思いました。

報告者：五十嵐市子（浅岐・間方地区担当）



明るく開放的な福祉機器展示室の前にて



きえ状以
まで況上車
においのい
たり対展す
た。、応示だ
、そでがけ
のきありも
高性機、1
性能様0
にを々種
驚備な類

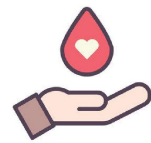
ゆい♡はーと⑥

三島町赤十字奉仕団 活動日誌

三島町には、現在20名の赤十字奉仕団員が活動を行っています。地区のゴミ拾いや草むしりなどの清掃奉仕、懇親と研修を兼ねた日帰り旅行、救急法などの講習会や献血事業への協力、他町村の奉仕団との連携などを行っています。



随時
新規加入団員
募集中！



5月8日、各地区のゴミ拾いの後は、福祉センター周辺の美化活動として花壇の整備、草むしりなどを行いました。



6月21日、視察研修旅行として、郡山市美術館で開催されていた「北斎・広重大浮世絵展」の観覧と三春ダムの見学に行きました。

浮世絵展では、緻密な版画の刷り上がりに目を奪われ、素晴らしい芸術に触れることができました。三春ダム見学では、現在のための仕組みや水質保全の取り組みを学びました。団員同士の親睦も図れ、大変有意義な研修旅行になりました。



6月29日、両沼方部赤十字奉仕団連絡協議会総会が三島町で開催されました。研修では、会津坂下消防署三島出張所長の小林秀一様より「消防防災についての新しい情報」をテーマにご講演いただきました。

気象情報や様々な警報について、防災に役立つ機器の紹介、救急要請の判断に困った時に相談できる「#7119」について学びました。

地域ふれあいサロンで「イイコト」何でも楽しもう！

町内に13か所ある地域ふれあいサロンは、それぞれがやりたいことや過ごしやすい居場所づくりを行っています。月に1回サロンに行けば皆に会える、知りたいことや分からないことを知ることができる、一人では味わえない楽しい時間が過ごせる。ちょっとイイコト・とってもイイコトがあるサロンに皆で遊びに行きましょう。

集まって顔を合わせ・言葉を交わすだけで幸せな関係がたくさんあるのは、人生の宝物です。今年も元気に仲良く楽しみましょう。【西方ほがらかサロン】



サロンでこころも体も健康になれる！



ゲームは本気でやったほうが面白い！勝ち負けはもちろん、思い通りにいかない面白さがあったり、駆け引きがあったり、笑いと歓声に包まれます。【川井友愛サロン】



Meijiケンコーラボさんの出前講座。ドキドキしながら血管年齢・骨密度を測定し、カルシウムについて講話を聞きました。

【高清水小山いきいきサロン】

新しい「学び」・「発見」がある！



山びこ館長川合正裕さんから、地区の歴史についての講話を聞き、地区の成り立ちや現在に至るまでの道のりに思いをはせ、有意義な時間を過ごしました。【大登サロン】



獣による作物被害が多い名入地区。町の鳥獣対策専門員の鈴木亮さんから、地区内の獣の出没情報や、獣の種類による対策方法を学びました。

【サロンないり】

三島町老人クラブ連合会 活動日誌



三島町老人クラブ連合会は、それぞれが主体的に活動に参加し、自らの健康づくりはもちろん、組織の維持のために出来ることに積極的に取り組んでいます。参加できる場には出来るだけ参加して、準備や片付けなども皆で行います。

森の校舎カタクリでのグラウンドゴルフ講習会では、石拾い等のグラウンドの整備もしながら、暑さにも負けず、大会に向けて熱心に練習を重ねています。

